

- 農作物等の地球温暖化の影響や適応策の導入状況について47都道府県へ実態調査を行い、その結果をレポートとして公表。
- 気候変動の影響を受けにくい強靱で持続的な産地を確立するため高温耐性品種等への転換、適応技術導入等の対策の実証に取り組む産地を支援。
- 産地における気候変動に対するリスクマネジメントや適応策の実行を推進するため、「気候変動適応ガイド」を8月に公表。

温暖化影響の把握・情報発信

- 平成30年地球温暖化影響調査レポート (R元年10月)



URL : <http://www.maff.go.jp/seisan/kanky/ondanka/index.html>

- 農業温暖化ネット 農作物等の地球温暖化策等の情報サイト。



URL : <https://www.ondanka-net.jp/>

- 地球温暖化と農林水産業 農林水産分野の独立行政法人が連携して、研究成果や関連情報を広く提供するサイト。



URL : <http://ccaaff.dc.affrc.go.jp/index.html>

地球温暖化に対応する産地形成に向けた取組支援

- 生産体制・技術確立支援事業(新品种・新技術の確立支援) (令和2年度予算額:63百万円の内数)

「強み」のある産地形成に向け、生産者・実需者等が一体となって地球温暖化に対応する品種・技術を活用する取組を支援。

※品種・技術等の例

研究機関等で開発された品種

地域固有の品種・特定の農業者が持つ技術

地球温暖化に対応する品種・技術

など

気候変動リスクマネジメントの推進

- 気候変動適応ガイド(水稻編・りんご編)をHPで公表

都道府県の農業部局担当者や普及指導員向けに、気候変動に対するリスクマネジメントや適応策を実行する際の指導の手引きとして「農業生産における気候変動適応ガイド」を作成・公表。



◎ 農業分野における地球温暖化適応策に関する情報発信・支援【農林水産省】

○ 持続的生産強化対策事業のうち産地気候変動リスクマネジメント推進

【令和3年度予算概算要求額 45（－）百万円】

<対策のポイント>

産地における気候変動適応策実行計画の策定を促すための指導・支援体制を構築します。

<事業目標>

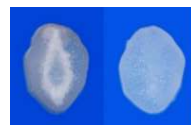
気候変動による影響が大きい産地において、適応策実行計画の策定（33計画 [令和7年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

現状

- 日本の平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇。特に、1990年以降、高温となる年が頻発
- 農業は気候変動の影響を受けやすく、高温による生育障害や品質低下が多くの都道府県で既に発生



水稲
夏期高温による白未熟粒（左側）
正常粒（右側）



ぶどう
夜間高温による着色不良果（左側）
着色良好果（右側）

対応

アドバイザリーチーム

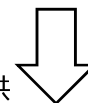
県農業共済組合

都道府県
(普及・試験場)

有識者

実需者

- ・取組への働きかけ
- ・技術的指導
- ・過去のリスクデータ提供



- ・実行計画のチェック依頼
- ・評価データ提供

産地

(気候変動適応策実行計画作成・見直し)



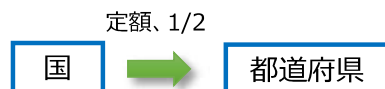
➡ 気候変動リスクの回避・軽減

○ 産地気候変動リスクマネジメント推進

地球温暖化の進行に伴い、農業生産への影響が顕在化する中、更なる温暖化の進行に備え、産地においても気候変動に対するリスクマネジメントを行い、中長期的な気候変動適応策実行計画を策定・実行し、気候変動リスクの回避・軽減を講じていく必要があります。

農林水産省において作成した、「農業生産における気候変動適応ガイド」等を参考に、都道府県、県農業共済組合、有識者、実需者等から構成されるアドバイザリーチームが、産地における実行計画策定を促すための取組を支援します。

<事業の流れ>



◎ 農業分野における地球温暖化適応策に関する情報発信・支援【農林水産省】

○ 農林水産分野における地域気候変動適応推進事業

【令和3年度予算概算要求額17(17)百万円】

<対策のポイント>

地方公共団体による農林水産分野の地域気候変動適応計画（以下「地域計画」という。）の策定を強力にサポートするため、**将来の影響評価や適応策に関するウェブ検索ツールの運営、気候データ整備や影響予測モデルを用いた影響評価、農林漁業関係者とのコミュニケーション等を支援**します。

<政策目標>

地域の気候条件に即した農林水産分野における地域気候変動適応計画の策定【47都道府県〔令和3年度まで〕】

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 地域計画策定を推進するためのウェブ検索ツールの運営

- 地方公共団体の政策の企画・立案者が各種シナリオ、農林水産物の品目等を選択することにより、将来の影響評価や、その影響を軽減・回避するための適応策に関する情報をウェブ上で検索できるツールを運営（データ更新、保守等）します。

2. 気候データ整備や影響予測モデルを用いた影響評価の支援

- 高度な専門的知識を必要とする影響評価の実施等を支援します。

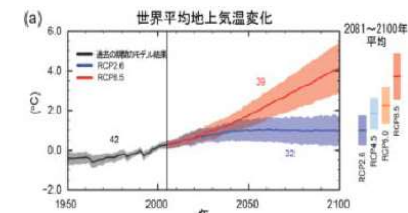
3. 地域計画策定に係る農林漁業関係者との意見交換会の開催

- 地方公共団体と農林漁業関係者との科学的知見に基づくブロック別意見交換を支援します。

【地域計画策定を推進するためのウェブ検索ツールの運営】

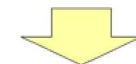
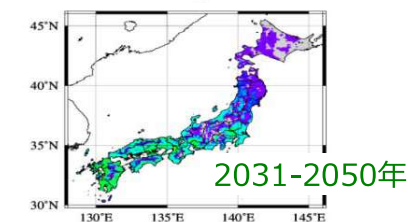
【産地等の将来気候の予測】

- ・温室効果ガス排出シナリオを設定
- ・社会経済シナリオを設定
- ・モデル式を用いて産地レベルの気候を予測



【品目毎に影響評価】

- ・品目、項目を選択
- ・収量、品質等に及ぼす影響をモデル式から予測



【適応策のデータベース】

- ・適応策の紹介・比較検討
- ・適応策導入の効果検証
- ・費用対効果、実行可能性

適応策の例（水稻）
 ・高温耐性品種の導入
 ・移植時期の繰下げ
 ・肥培管理の徹底・・・等

【データ整備・評価等の支援】

【農林漁業者との意見交換】



具体的な地域計画の策定

<事業の流れ>

